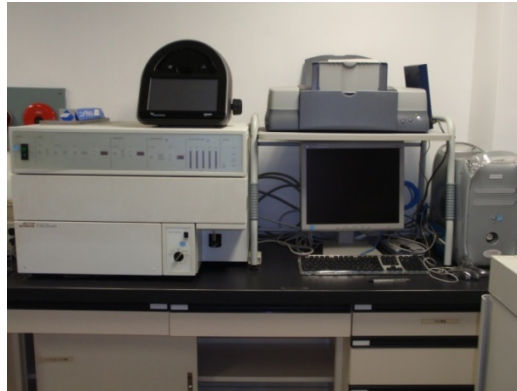


細胞 DNA 解析装置

1. 概要

放射線やその他の細胞内外ストレス負荷後の細胞周期の乱れ、或は細胞死の計時的、定量的な解析を行なえる。また蛍光物質で標識された蛋白の細胞内カイネテックスの解析が行なえる。



2. 特性

1)ベクトン&デッキソン社 FACS can フローサイトメーター

488 nm 半導レーザーと 633nm He-Ne レーザー標準搭載されている。細胞のソーテンテング能力は無い。

2)バイオラッド社製 Tali 蛍光光度解析システム

ベンチトップ型蛍光光度計 光学3チャンネル 明視野、緑蛍光、赤蛍光
励起波長 458nm LED と 530 nm LED が搭載されている。

3. 設置場所

原子力科学館粒子線生物学分野実験室

4. 提出書類

この装置を使用するためには、事前に担当者より設備の説明と取り扱いのガイダンスを受ける事が必須である。励起波長から利用できる蛍光物質の利用の制限がある。

5. 装置担当者

増永慎一郎 (2406, 2487)、真田悠生 (2444)

6. その他

担当者との事前の打ち合わせを必ずしておくこと。